

平成30年度 学校評価に関するアンケートについて 分析・感想等

1 はじめに

今年度も全校生徒、保護者、教職員を対象に学校評価に関するアンケートを実施した。回答数は、生徒135名、保護者131名、教職員19名である。質問内容は（1頁～3頁）に掲載している。質問項目は対象ごとに異なるが、共通項目を用意して、比較分析・検討ができるように工夫している。

なお、生徒向けアンケートには保健部からの追加質問も載せているが、この2問については今回の集計には含まれていない。

回答は①～④の選択式で、①（かなりそう思う）、②（だいたいそう思う）、③（あまりそう思わない）、④（そう思わない）としている。①と②を合わせて肯定的回答、③と④を合わせて否定的回答として、データを集計している。

2 生徒のアンケートの結果から（4頁～11頁、16頁）

①（かなりそう思う）＋②（だいたいそう思う）のパーセンテージの高い順に並べた帯グラフの表を見ると、学習に関する項目では、全学年とも

「(10) 授業のノートや板書はきちんと取っている。(全校生徒で97.8%)」

「(9) 提出物や課題等はきちんと提出している。(同92.6%)」

が最も評価の高い項目にあたるが、その反面、

「(7) 授業には予習をして臨んでいる。(同11.1%)」

「(8) 授業の復習は欠かさず行っている。(同15.6%)」

が昨年度に引き続き最下位であった。また、

「(12) 家では計画性を持って自宅学習を行っている。(同31.1%)」

も低い。これらは、小国高校の多くの生徒が家庭で学習をあまりしていないことの表れであろう。実際定期的実施している家庭学習時間調査でも家での勉強時間が少ない生徒が多いことがわかっている。授業への集中はもちろん必要であるが、「予習→授業→復習」の学習サイクルを確立し、いかに家庭学習をするか（私たち教師がさせるか）が学力向上のためのポイントである。

生徒全体（10頁～11頁、前年度との比較16頁）で見ると、学校生活に関する項目では、

「(17) 基本的な当たり前の生活（あいさつ・服装・言葉遣い）がきちんとできている。(同96.3%)」

「(19) 掃除は真面目に取り組んでいる。(同93.3%)」

「(39) クラスマッチ、フェスティバル等、生徒会活動に積極的に参加している。(同91.9%)」

の評価が高く、小国高校での高校生活が充実していることがうかがえる。それはまた

「(1) 小国高校に入学してよかった。(同91.1%)」

の評価が高いことでもわかる。

気になるのは、昨年度のアンケートでも同じように低かった項目

「(3) 小国高校の96年の伝統に誇りを持っている。(同56.3%)」

「(15) 10年後の自分が何をしているかが想像できる。(同38.5%)」

であり、まだまだ小国高校に誇りが持ててない生徒が多い。自分が小国高校の生徒であると自信を持って言えるよう、そして、小国高校に誇りを持てるよう、さらには、自分の将来について明るい展望が持てるように、これから生徒たちとさらに深く関わっていかなく

ればならないと感じる。4年後に本校は創立100周年を迎える。歴史と伝統ある小国高校をこれからも未来永劫存続させて行くには現在の在校生を中心とした若い力が必要となってくる。

次に、前年度との比較の表（16頁）を見ると、

「(23) 自ら考え、自ら行動する主体性・自主性が身に付いている。(74.1%、前年比+11.0%)」

「(22) 部活動・生徒会活動は活発である。(83.0%、同+9.2%)」

「(11) テスト前はいつもより時間をかけて勉強している。(84.4%、同+8.6%)」

「(37) 学校は、環境教育やエコ活動についての指導を行っている。(80.0%、同+6.2%)」

「(28) 先生は、授業の工夫・改善に努め、分かる授業を行っている。(93.3%、同+6.1%)」

「(9) 提出物や課題等はきちんと提出している。(92.6%、同+6.1%)」

の伸びが目立つ。逆に、最も評価が下がったのは

「(13) 自分の将来を真剣に考えている。(76.3%、同-4.6%)」

「(6) 授業は真面目に受け、真剣に参加している。(88.9%、同-4.0%)」

「(5) 学校生活は充実しており満足している。(79.3%、同-3.7%)」

であった。これらの項目は前年比でポイントが下がってはいるが、全体として8割近くの生徒が肯定的回答をしていることにも注意しながら、来年さらにポイントを上げられるよう学校としても取り組んでいきたい。そのためには、私たち教師が、授業や部活動、生徒会活動等あらゆる教育活動の場面で、しっかりと生徒たちと関わっていく必要がある。

3 保護者のアンケートの結果から（12頁～13頁、17頁、19頁）

次に保護者の皆様からの評価についてであるが、グラフを見てもわかるように、全ての項目において、肯定的回答（①+②）のパーセンテージは60%を越えている。

「(2) 小国郷唯一の高校として、地域の期待に応えている。(94.7%)」

「(25) 生徒のための、学校行事（フェスティバル・クロスカントリー等）が充実している。(90.1%)」

「(34) 学校の電話の対応はよい。(90.1%)」

「(3) 教育目標に基づいた教育実践（学校行事等）が行われている。(89.3%)」

をはじめとして、保護者の皆様には多くの場面で本校に対して高い評価をいただいている。

また、前年度比較（17頁）では、全38項目中22項目で、前年度より高い評価をいただいている。前年度比較で最も伸び率が高かったのは

「(15) 生徒の基本的な生活習慣（あいさつ・服装・謙遜等）は、確立されている。(87.0%、前年比+10.2%)」であり、

「(14) 基本的な生活習慣を身に付けられるような指導が行われている。(81.7%、同+9.3%)」

「(27) 生徒会活動は活発で充実している。(84.0%、同+8.6%)」

「(29) 育志会活動は、組織的・計画的で活発に行われている。(85.5%、同+7.9%)」

「(38) 自分自身は、小国高校の魅力を地域の方に伝えている。(80.2%、同+7.8%)」

も評価の伸びが大きかった項目である。また、

「(6) 授業の工夫・改善に努め、分かる授業が行われている。(79.4%、同+0.3%)」

は、全校生徒からの評価項目の

「(28) 先生は、授業の工夫・改善に努め、分かる授業を行っている。(93.3%)」

との差も前回の8%から13.9%と若干開きが出ているが、学校や授業の様子が家庭における親子の会話の中で話題になり、学校の教育方針や取組について保護者の皆様にご理解いただけているということだと考える。本校は毎年公開授業週間を1学期、2学期にそれぞれ

れ1回ずつ設けているので、保護者の皆様には実際に学校に足を運んできていただいて、子どもたちの授業を受ける様子、学校での活動の様子等を見ていただければ、さらに本校の教育活動について理解をしていただけるものと思う。

評価が最も低かった項目は、生徒たちの家庭学習について自己評価が低かったことに関連しているが、

「(7) 基礎・基本の定着及び家庭学習の習慣の確立のための手だてを行っている。(64.9%)」

であった。学校としても生徒の家庭学習習慣が定着していないことはしっかりと受け止めており、そのための対策もしているが、これについては学校と保護者との連携が必要だと考える。来年度の課題としてさらにしっかりと取り組んでいきたい。

次に低かった項目は、

「(31) 育志会行事には、積極的に参加・協力している。(65.6%)」

であった。今年度24年ぶりに体育大会を復活させ、保護者や地域の方々から大変好評をいただいた。例年実施しているクロスカントリー大会や小国高校フェスティバルでも保護者の方々から温かいご支援・ご協力をいただいております、学校行事の多くは育志会の支援があつて実現できている現状がある。今後とも保護者の皆様のさらなるご理解とご協力をお願いしたい。

4 教職員のアンケート結果から（14頁～15頁、18頁、19頁）

教職員の評価を見ると、肯定的回答（①+②）で100%となった項目が4項目あった。

「(2) 小国郷唯一の高校として、地域の期待に応えている。」

「(11) 卒業時の進路先決定については、成果が出ている。」

「(25) 学校行事（フェスティバル・クロスカントリー等）は充実している。」

「(32) 生徒の健康指導には適切に取り組んでいる。」

の4項目である。

前年度比較で評価を上げた項目は、全39項目中22項目であった。具体的には、

「(31) 育志会行事には、積極的に参加・協力している。(84.2%、前年比+29.7%)」

「(30) 育志会活動の内容は、理解している。(84.2%、同+20.6%)」

「(16) 学校の規則及び指導について理解している。(94.7%、同+12.9%)」

等である。今年度は育志会行事のみならず、町のマラソン大会や教職員サッカー大会・ハンドボール大会等への職員の参加率も高く、そのことも(31)等が大きく伸びた要因であると考えられる。逆に評価を下げた項目は15項目あり、その中には前年100%だった項目も含まれている。具体的には、

「(17) 学校は、生徒指導の面で、保護者との連絡や意思疎通を積極的に行っている。(84.2%、前年比-11.2%)」

「(21) 差別やいじめのない学校・学級づくりに努めている。(89.5%、同-10.5%)」

「(23) 学校施設・設備の安全対策が行われている。(89.5%、同-6.0%)」

等が評価を下げた項目である。

評価が上下する要因は、評価をする教職員の構成（メンバー、年齢等）や教職員の視点・意識の変化にあると思われるが、育志会と職員の協働によるよりよい信頼関係が学校行事をはじめとする学校の教育活動の充実に必要であるということの再確認と、教職員一人ひとりの意識レベルをさらに上げる取組も来年の課題としたいと思う。

5 保護者と教職員のアンケート結果の比較から（19頁）

最後に、保護者の皆様と教職員との比較データを見ると、昨年に引き続き教職員の評価の方が高い項目が多くなっていることが分かる。

「(7) 基礎・基本の定着及び家庭学習の習慣の確立のための手だてを行っている。(教職員－保護者＝24.6%)」

「(19) 生徒一人一人を基盤に個性を尊重した生徒支援が行われている。(同20.7%)」

「(32) 生徒の健康指導には適切に取り組んでいる。(同19.8%)」

「(31) 育志会行事には、積極的に参加・協力している。(同18.6%)」

「(37) 生徒との信頼関係は良好である。(同17.6%)」

等、各項目について直接指導に携わっているのが教職員であることから、このような結果となるのは自然なことであると考えます。

逆に保護者の評価の方が高い項目は、

「(35) 学校の掃除は行き届いている。(保護者－教職員＝13.3%、昨年度21.4%)」

「(20) 地域の人権教育研修会等には積極的に参加している。(同12.5%、昨年度20.8%)」

「(26) 部活動は活発で充実している。(同12.4%、昨年度11.1%)」

であり、昨年度と全く同じ3項目となったことは大変興味深い。これは、保護者の皆様よりも教職員の方がより厳しい視点で見ているということだと思われるが、今後さらに取組の充実を図っていきたい。

付録 各学校評価アンケートのベスト5とワースト5

対象	ベスト5とワースト5の項目の 番号、内容、①+②の割合 を示す。
生徒全体	<p>ベスト5</p> <p>(10) 授業のノートや板書はきちんと取っている。 【97.8%】</p> <p>(17) 基本的な当たり前の生活(あいさつ・服装・言葉遣い)がきちんとできている。 【96.3%】</p> <p>(28) 先生は、授業の工夫・改善に努め、わかる授業を行っている。 【93.3%】</p> <p>(19) 掃除は真面目に取り組んでいる。 【93.3%】</p> <p>(9) 提出物や課題等はきちんと提出している。 【92.6%】</p> <p>ワースト5</p> <p>(7) 授業には予習をして臨んでいる。 【11.1%】</p> <p>(8) 授業の復習は欠かさず行っている。 【15.6%】</p> <p>(12) 家では計画性を持って自宅学習を行っている。 【31.1%】</p> <p>(15) 10年後の自分が何をしているかが想像できる。 【38.5%】</p> <p>(3) 小国高校の96年の伝統に誇りを持っている。 【56.3%】</p>
保護者	<p>ベスト5</p> <p>(2) 小国郷唯一の高校として、地域の期待に応えている。 【94.7%】</p> <p>(25) 生徒のための、学校行事(フェスティバル・クロスカントリー等)が充実している。 【90.1%】</p> <p>(34) 学校の電話の対応はよい。 【90.1%】</p> <p>(3) 教育目標に基づいた教育実践(学校行事等)が行われている。 【89.3%】</p> <p>(35) 学校の掃除は行き届いている。 【87.0%】</p> <p>(15) 生徒の基本的な生活習慣(あいさつ・服装・言葉遣い等)は、確立されている。 【87.0%】</p> <p>(16) 学校の規則及び指導について理解している。 【87.0%】</p> <p>ワースト5</p> <p>(7) 基礎・基本の定着及び家庭学習の習慣の確立のための手だてを行っている。 【64.9%】</p> <p>(31) 育志会行事には、積極的に参加・協力している。 【65.6%】</p> <p>(4) 知性と品性を備えた教養人の育成が図られ、効果が上がっている。 【66.4%】</p> <p>(30) 育志会活動の内容は、理解している。 【67.9%】</p> <p>(17) 学校は、生徒指導の面で保護者との連絡や意思疎通を積極的に行っている。 【71.8%】</p>
教職員	<p>ベスト5(100%の項目のみ示す)</p> <p>(2) 小国郷唯一の高校として、地域の期待に応えている。 【100%】</p> <p>(11) 卒業時の進路先決定については、成果が出ている。 【100%】</p> <p>(25) 学校行事(フェスティバル・クロスカントリー等)は充実している。 【100%】</p> <p>(32) 生徒の健康指導には適切に取り組んでいる。 【100%】</p> <p>ワースト5</p> <p>(26) 部活動は活発で充実している。 【63.2%】</p> <p>(39) 進路検討会の結果を面談やその他の機会を活用している。 【68.4%】</p> <p>(20) 地域の人権教育研修会等には積極的に参加している。 【68.4%】</p> <p>(4) 知性と品性を備えた教養人の育成が図られ、効果が上がっている。 【68.4%】</p> <p>(35) 学校の掃除は行き届いている。 【73.7%】</p>